

---

# 2015年1月期 決算説明会

株式会社 東京ドーム

---

# 目次

【2015年1月期 決算 総括】			【営業状況】 東京ドームシティ事業		
業績ハイライトと総括	……	4	東京ドーム	……	16
【2015年1月期 決算 実績及び主要施設の営業状況】			ラクア	……	17
連結対象会社	……	6	アトラクションズ ASOBono!(アソボーノ)	……	18
2015年1月期 決算 実績	……	7	黄色いビル	……	19
営業外損益	……	8	ミーツポート	……	20
特別損益	……	9	飲食&物販	……	21
連結貸借対照表	……	10	東京ドームホテル	……	22
キャッシュ・フロー(連結)	……	11	流通事業 ショッピング	……	23
当社グループの事業セグメント	……	12	不動産事業	……	24
セグメント別売上高	……	13	熱海事業 熱海後楽園ホテル	……	25
セグメント別営業利益	……	14	札幌事業 東京ドームホテル 札幌	……	26
			競輪事業	……	27
			2016年1月期 連結通期業績予想	……	28
			今期配当予想と業績予想の変動要因	……	29
			リニューアル施設のご紹介	……	30

---

# 2015年1月期 決算 総括

(株)東京ドーム 代表取締役社長 執行役員  
久代 信次

# 業績ハイライトと総括

(単位:百万円)

	15年1月期	14年1月期	増減	<参考> 15.1期 計画値
売上高	83,215	83,562	△347	79,200
営業利益	11,270	11,724	△454	8,900
経常利益	9,136	9,318	△181	6,300
当期純利益	7,441	8,077	△635	3,800

## ◆総括

### ■損益状況

- 東京ドームにおけるイベントの減少  
(前期WBCやコンサート開催数減少)
- 直営の飲食や物販が減収
- ラクーア・アトラクションズの増収
- 東京ドームホテル宿泊部門の好調
- 新施設「TeNQ」の好調

### ■バランスシート

- 有利子負債(CP含む)の減少  
⇒期末残高1,660億(前期末1,727億)
- 利益剰余金の着実な増加  
⇒期末178億(前期末113億)
- OD/Eレシオ(有利子負債 / 純資産)  
⇒2.05倍(前期末2.32倍)

### ■配当金

- 1円増配6円

---

# 2015年1月期 決算 実績及び主要施設の営業状況

(株)東京ドーム 専務取締役 執行役員  
野村 龍介

# 連結対象会社

	15年1月期	14年1月期
連結子会社	13社	13社
持分法適用会社	3社	3社

# 2015年1月期 決算実績

(単位:百万円)

	15年1月期	14年1月期	増減	増減要因(前期比)
売上高	83,215	83,562	△347	【+要因】TeNQの好調 【-要因】コンサートイベントの減少、 ポストシーズンゲームの試合数減、(前期)WBCの開催
営業利益	11,270	11,724	△454	【-要因】売上の減少、TeNQ開業など設備投資増加により減価償却費増、営業費の増加(TeNQ販促費ほか)
経常利益	9,136	9,318	△181	【+要因】支払利息の減少、為替差益・持分法投資利益の計上、(前期)為替差損・持分法投資損失の計上 【-要因】売上の減少
税金等調整前 当期純利益	8,462	8,322	140	【+要因】固定資産除却等損失引当金戻入、減損損失の減少 【-要因】固定資産除却損の計上
当期純利益	7,441	8,077	△635	【-要因】(前期)子会社売却および将来利益計画の見直しに伴う繰延税金資産の計上

減価償却費	7,326	7,223	103	【+要因】設備投資の増加による(TeNQ他)
設備投資額	6,686	5,244	1,442	【今期】TeNQ開業、人工芝張替え、耐震工事ほか 【前期】松戸公産ソーラー事業、更新投資
有利子負債 期末残高	166,085	172,769	△6,684	

# 営業外損益

(単位:百万円)

	15年1月期	14年1月期	比較増減
受取利息	71	71	0
受取配当金	490	450	40
為替差益	17	—	17
持分法による投資利益	35	—	35
その他	144	111	33
営業外収益	760	633	127
支払利息	1,759	2,045	△285
社債発行費償却	601	626	△25
為替差損	—	60	△60
持分法による投資損失	—	10	△10
その他	533	296	237
営業外費用	2,894	3,040	△145
営業外損益	△2,133	△2,406	272



# 特別損益

(単位:百万円)

	15年1月期	14年1月期	比較増減
固定資産売却益	0	3	△2
固定資産受贈益	46	—	46
投資有価証券売却益	44	32	11
子会社株式売却益	—	24	△24
工事負担金等受入額	10	—	10
補助金収入	73	35	38
固定資産除却等損失引当金戻入	190	63	127
その他	30	—	30
<b>特別利益</b>	<b>397</b>	<b>159</b>	<b>237</b>
固定資産売却損	56	23	33
固定資産除却損	540	285	254
解体撤去費	238	267	△28
減損損失	223	579	△356
関係会社支援損	12	—	12
<b>特別損失</b>	<b>1,072</b>	<b>1,155</b>	<b>△83</b>
<b>特別損益</b>	<b>△674</b>	<b>△996</b>	<b>321</b>

# 連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産	金額	対前期末	負債純資産	金額	対前期末
流動資産	22,338	980	流動負債	71,588	△4,991
固定資産	280,665	△903	固定負債	152,206	△1,375
有形固定資産	238,151	△2,389	負債合計	223,795	△6,367
無形固定資産	1,107	149	株主資本	20,163	6,480
投資その他の資産	41,406	1,336	その他の包括利益 累計額	60,525	△223
繰延資産	1,480	△188	純資産合計	80,688	6,256
資産合計	304,484	△110	負債純資産合計	304,484	△110

# キャッシュ・フロー(連結)

(単位:百万円)

	15年1月期	14年1月期	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,131	17,296	△164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,102	△4,624	△1,478
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,563	△11,428	1,864
現金及び現金同等物の増減額	1,465	1,243	222
現金及び現金同等物の期首残高	13,095	11,852	1,243
現金及び現金同等物の期末残高	14,561	13,095	1,465

# 当社グループの事業セグメント

## □ 東京ドームシティ事業

東京ドーム  
ラクーア  
黄色いビル

東京ドームシティアトラクションズ  
ミーツポート  
東京ドームホテル 他

## □ 流通事業

ショップイン

## □ 不動産事業

アドホック新宿、プチモールニツ木、代々木イースト 他

## □ 熱海事業

熱海後樂園ホテル

## □ 札幌事業

東京ドームホテル 札幌

## □ 競輪事業

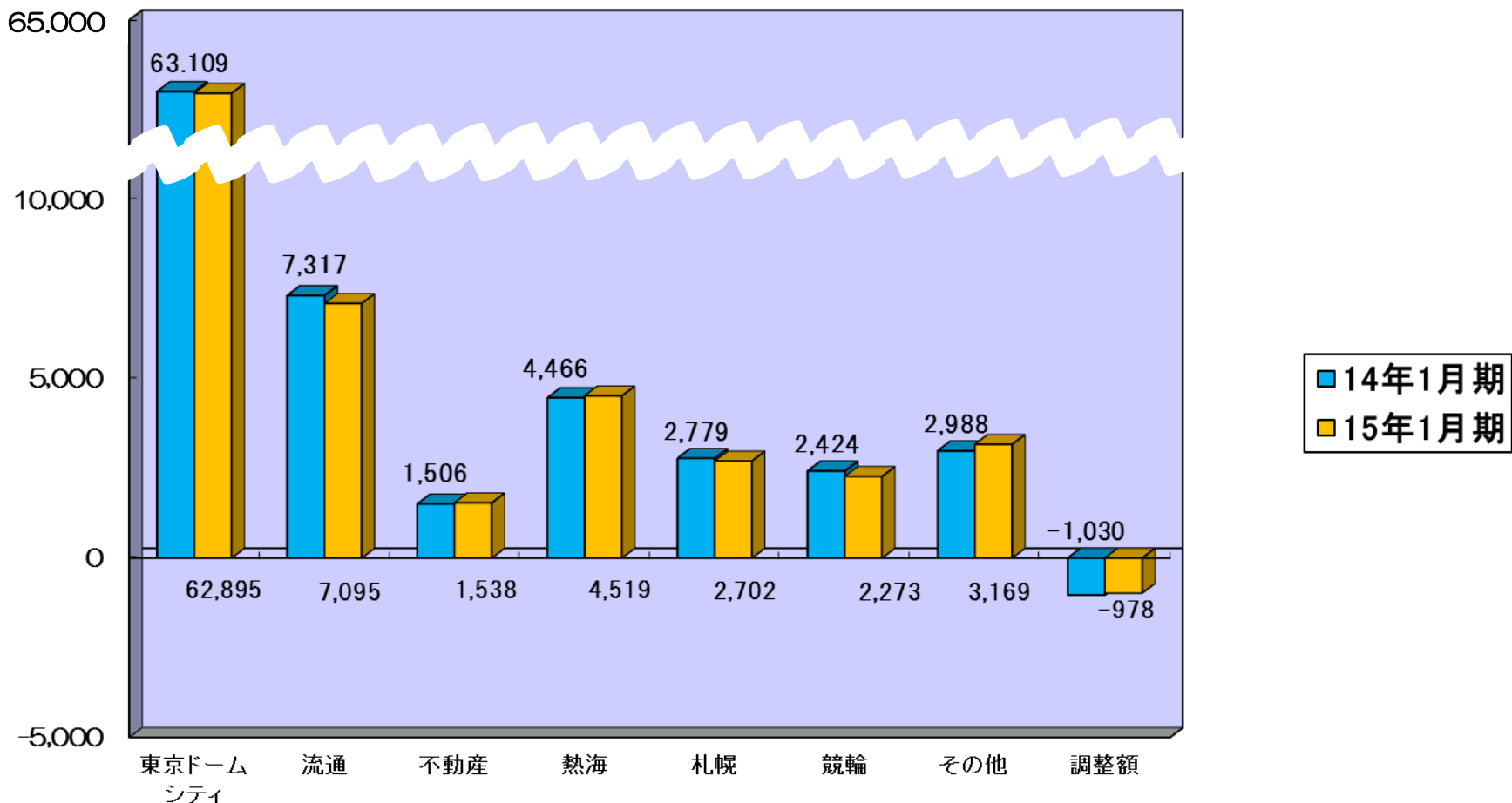
松戸競輪場 他

## □ その他

生命・損害・医療保険代理店事業、  
有価証券の保有・管理事業、  
有線テレビジョン放送事業等  
スポーツ施設運営受託等

# セグメント別売上高

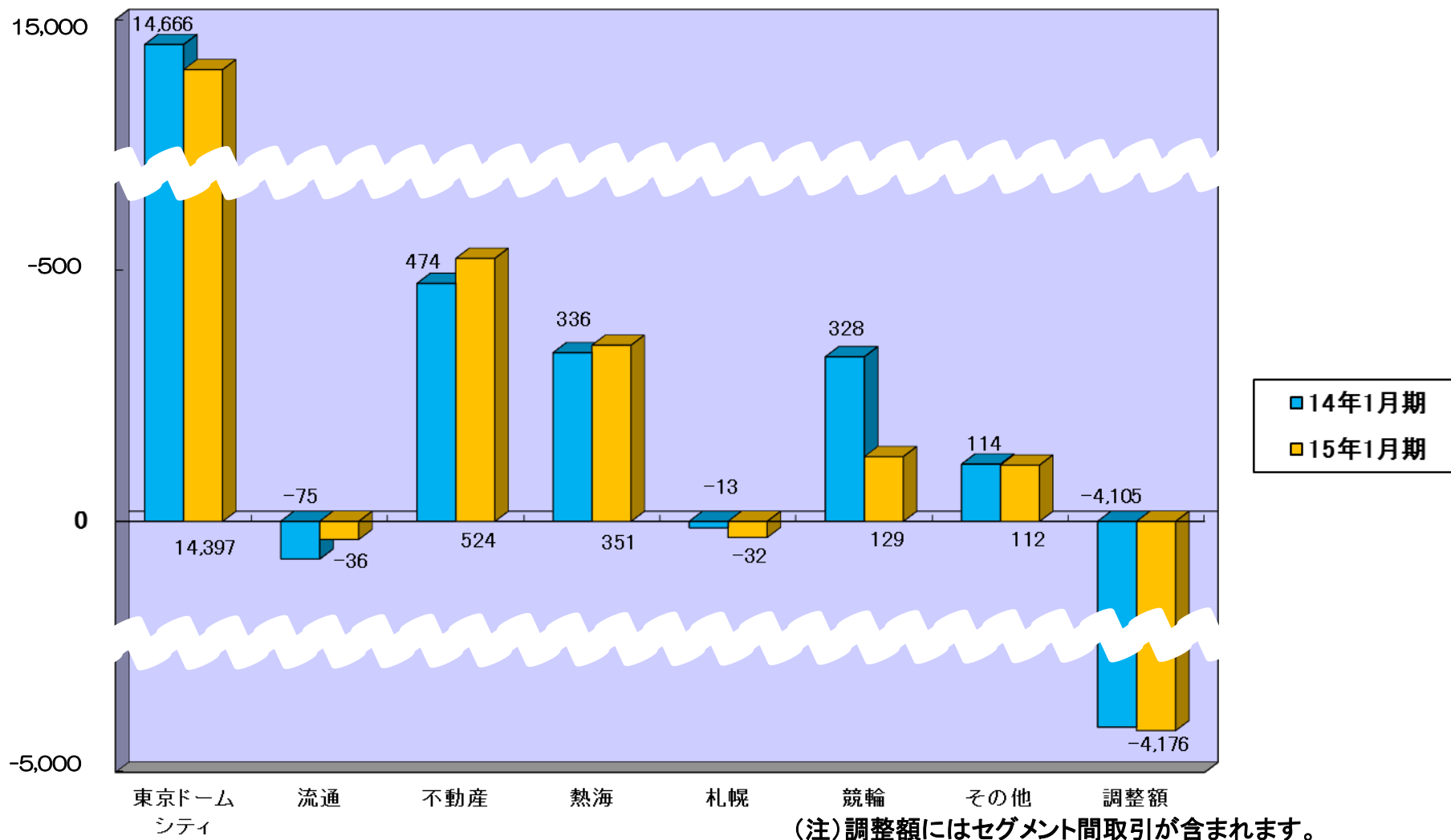
単位:百万円



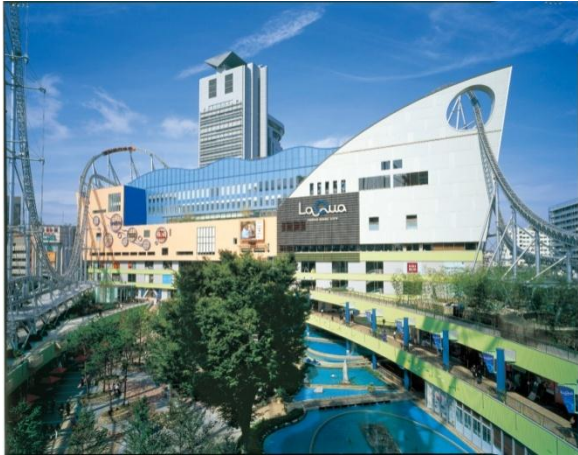
(注)調整額にはセグメント間取引が含まれます。

# セグメント別営業利益

単位:百万円



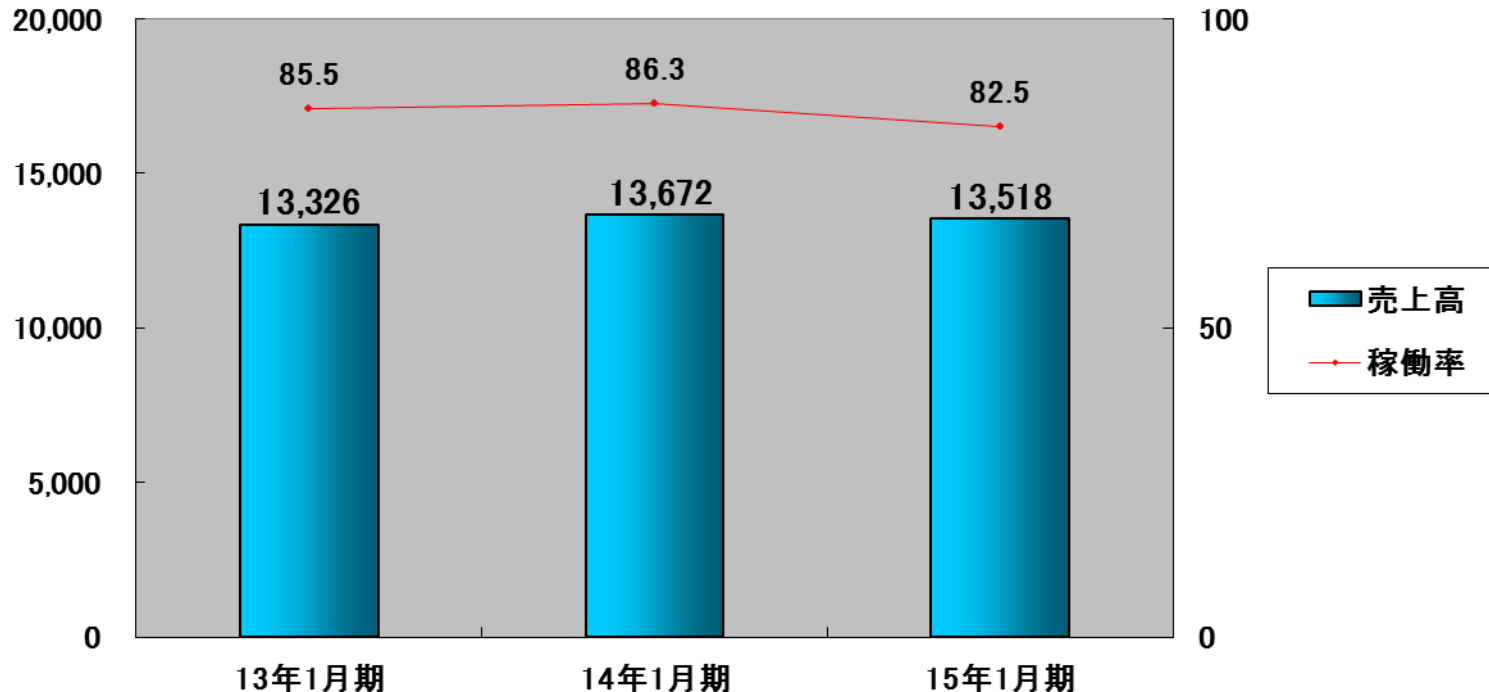
# 営業状況 東京ドームシティ事業



# 東京ドーム

単位:百万円

単位:%



ジャンル別稼働日数	13年1月期			14年1月期			15年1月期	
		13/1	14/1	15/1	15/1 計画値	15/1 計画比		
プロ野球 [巨人戦]		101[64]	95[64]	91[63]	88[63]	3(0)		
その他野球		28	29	29	29	0		
コンサートイベント ※		109(50)	120(57)	108(52)	113(54)	△5(△2)		
その他イベント ※		75(54)	71(50)	73(52)	75(53)	△2(△1)		
合計		313	315	301	305	△4		

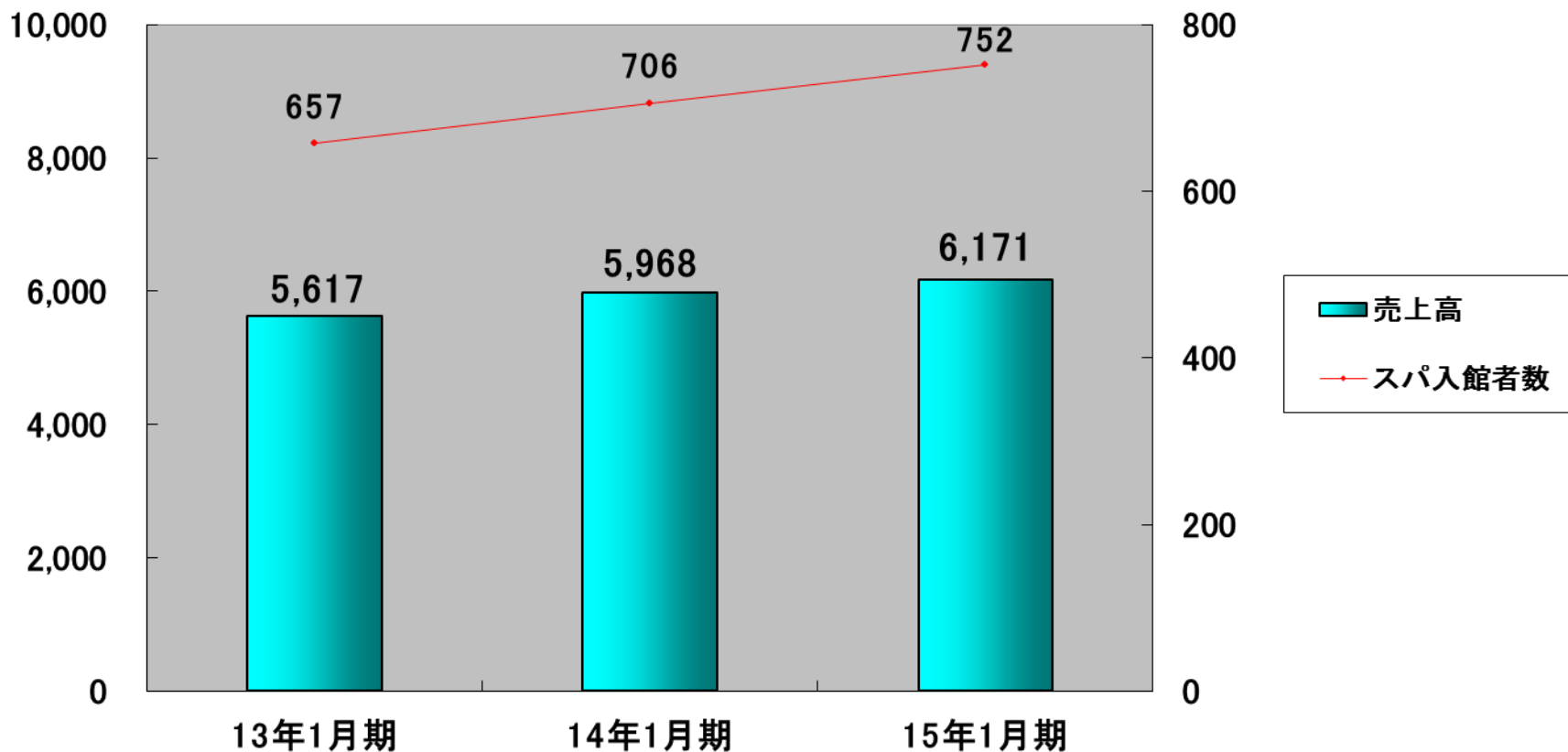
※ 設営日、撤去日を含む。( )内は、イベント開催日数



# ラクーア

単位:百万円

単位:千人

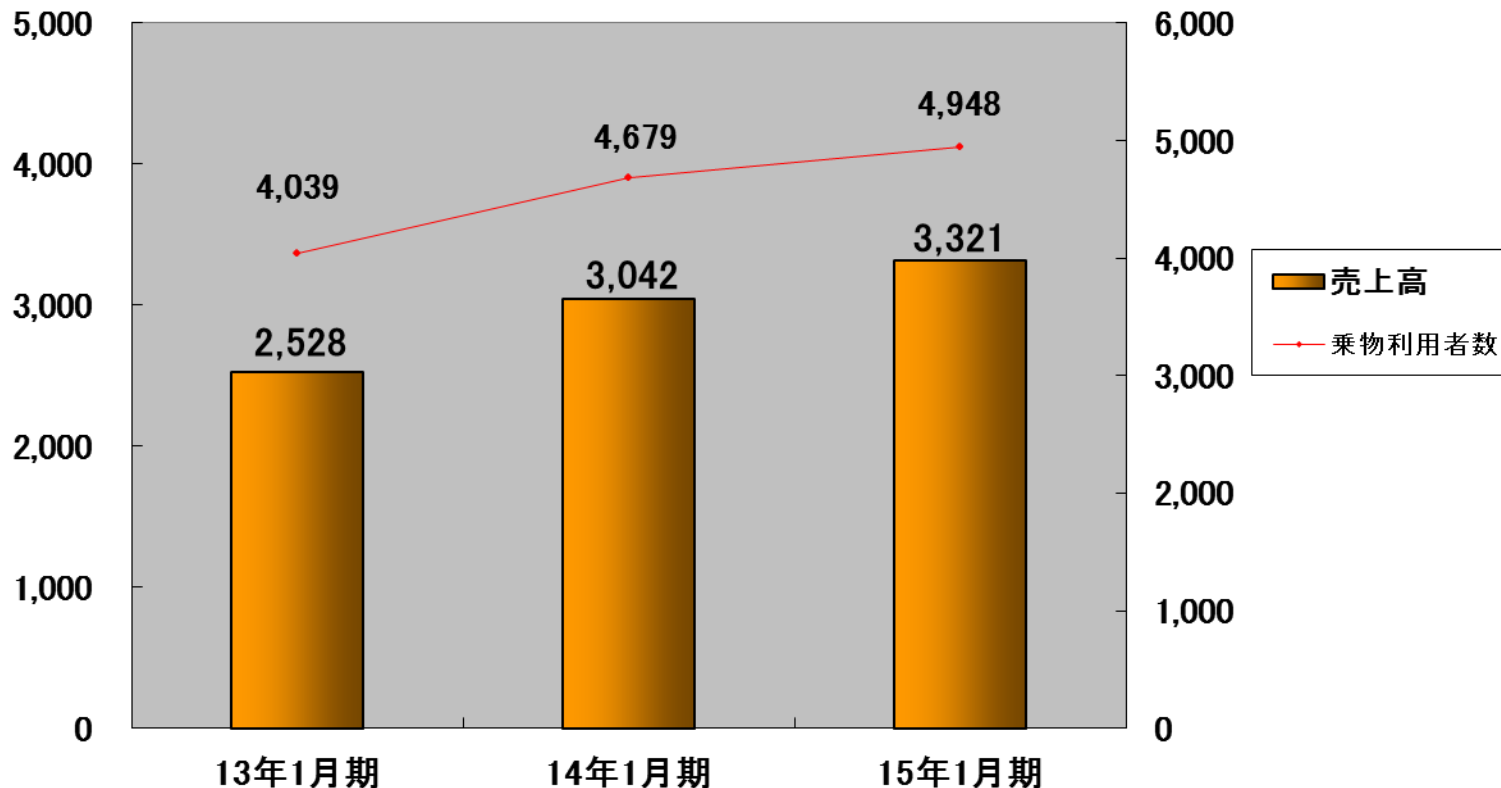


	13/1	14/1	15/1
来街者数(万人)	1,318	1,360	1,420
テナント売上(百万円)	11,959	12,568	13,302

# アトラクションズ、ASOBono!(アソボーノ)

単位:百万円

単位:千人



	13/1	14/1	15/1
アトラクションズ売上高(百万円)	2,169	2,667	2,956
ASOBono!売上高(百万円)	359	375	364

# 黄色いビル

※売上高の主な内訳は、「場外馬券場賃貸収入」となっております。

単位:百万円

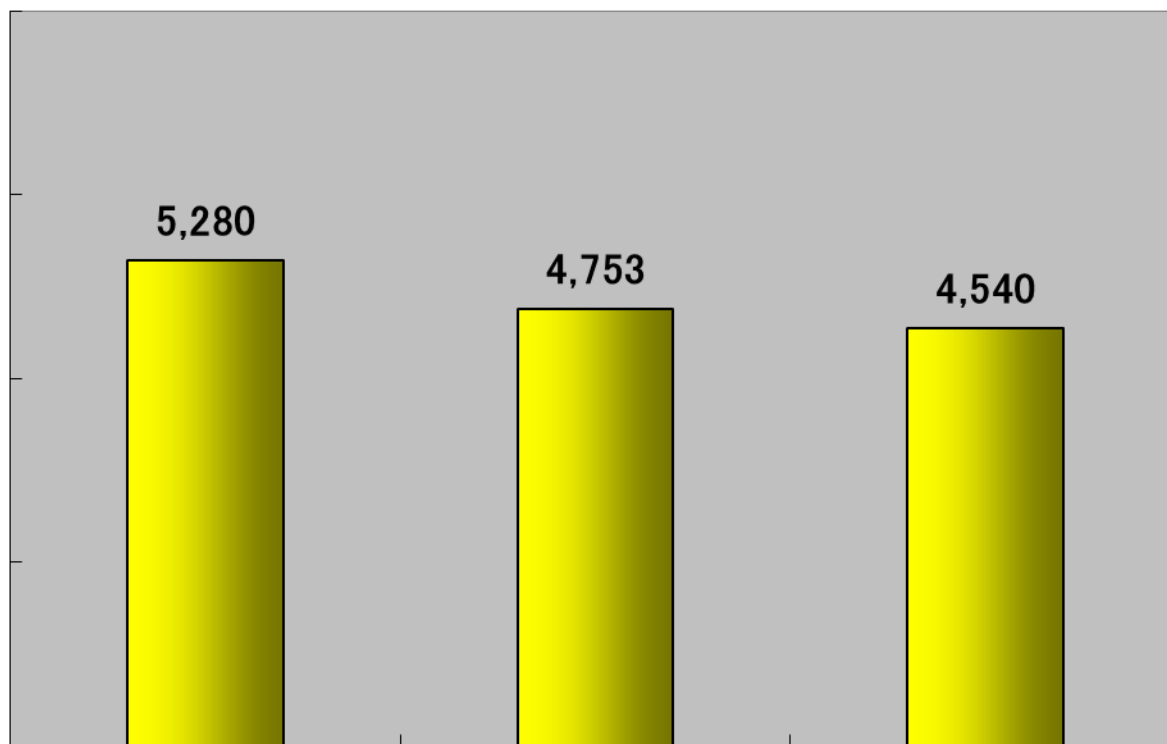
8,000

6,000

4,000

2,000

0



売上高

13年1月期

14年1月期

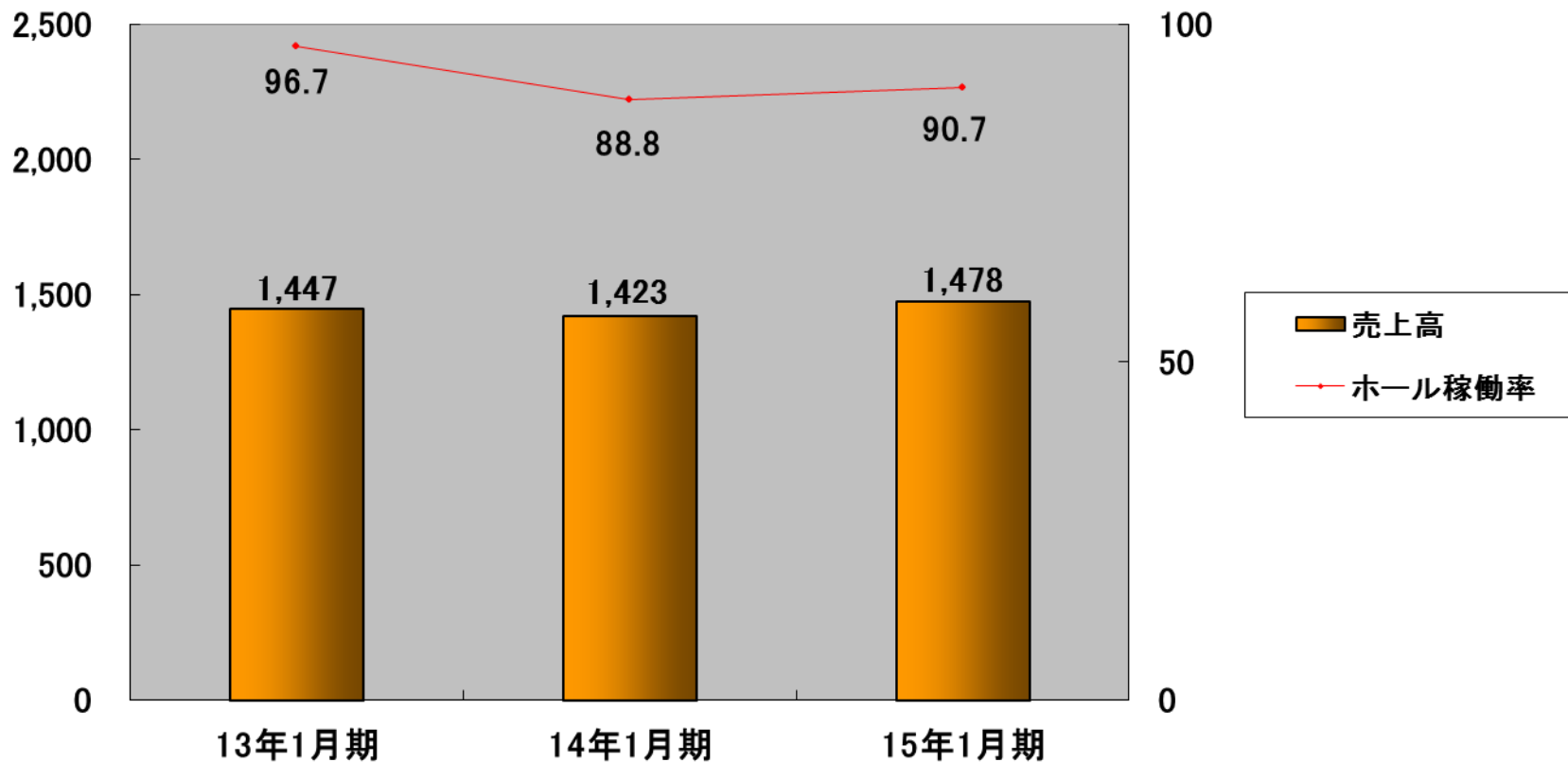
15年1月期

	13/1	14/1	15/1
ウインズ開催日数	107	106	114
オフト開催日数	269	270	266

# ミーツポート

単位:百万円

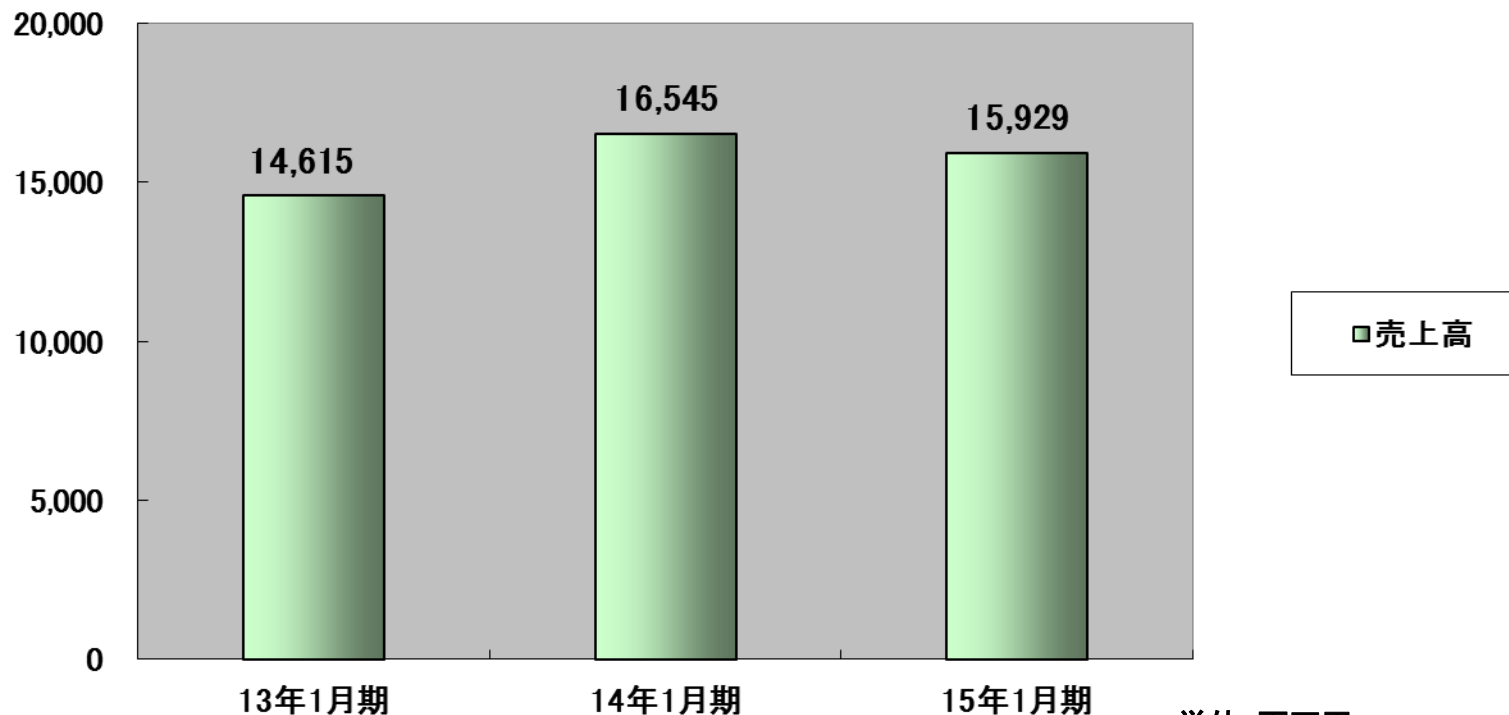
単位:%



	13/1	14/1	15/1
ホールイベント数(回)	354	324	331
ホール入場者数(千人)	494	598	648

# 飲食 & 物販

単位: 百万円



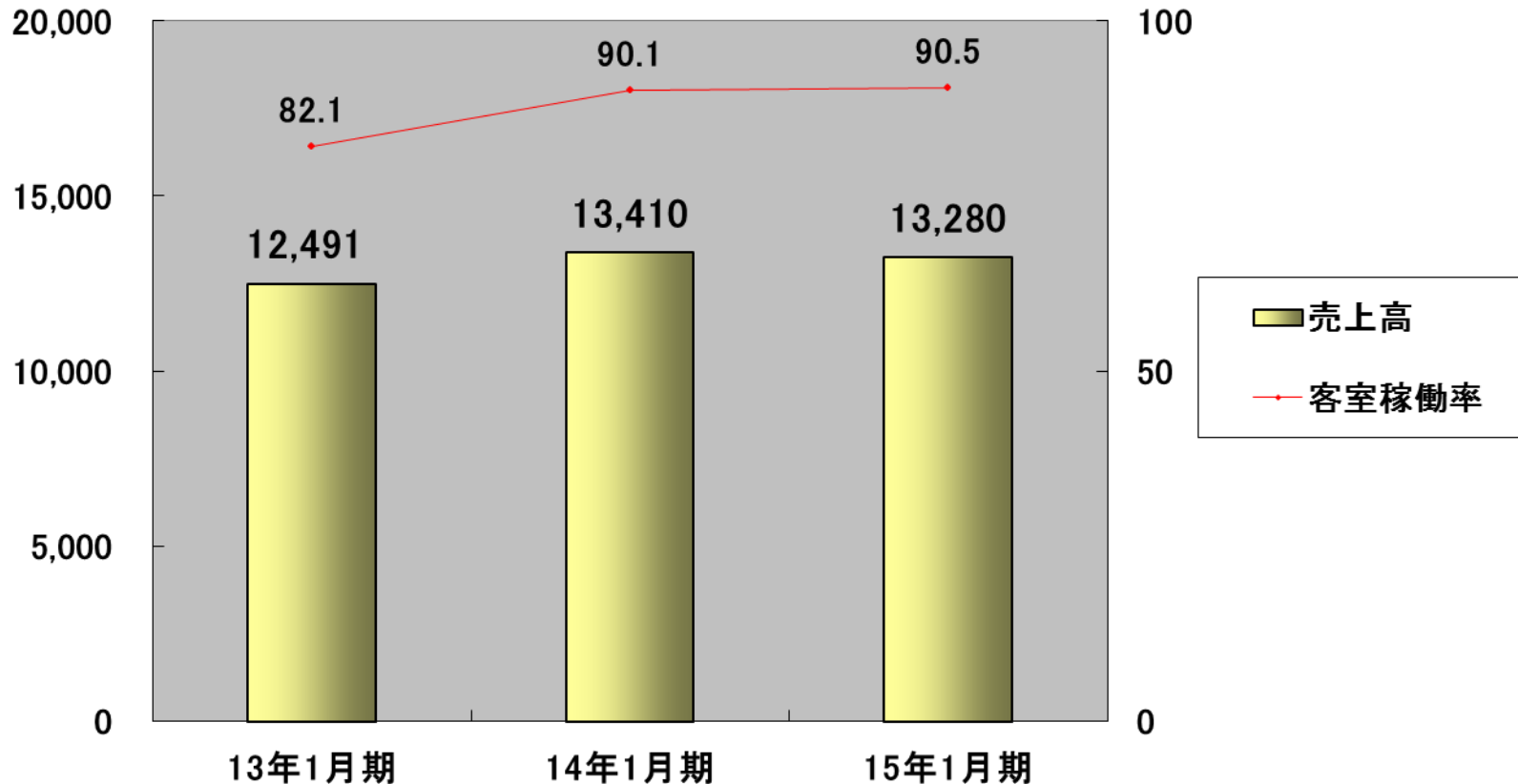
単位: 百万円

売上高内訳	単位: 百万円		
	13/1	14/1	15/1
東京ドームエリア	12,777	14,730	14,314
黄色いビルエリア	681	632	500
アトラクションズエリア	741	816	861
後楽園ホールビルエリア	283	224	104
その他	131	141	149

# 東京ドームホテル

単位:百万円

単位:%



	13/1	14/1	15/1
宿泊者数(千人)	468	521	528
宴会件数(件)	2,194	2,308	2,182
婚礼件数(件)	290	282	273

# 流通事業 ショッピング

単位:百万円

12,000

10,000

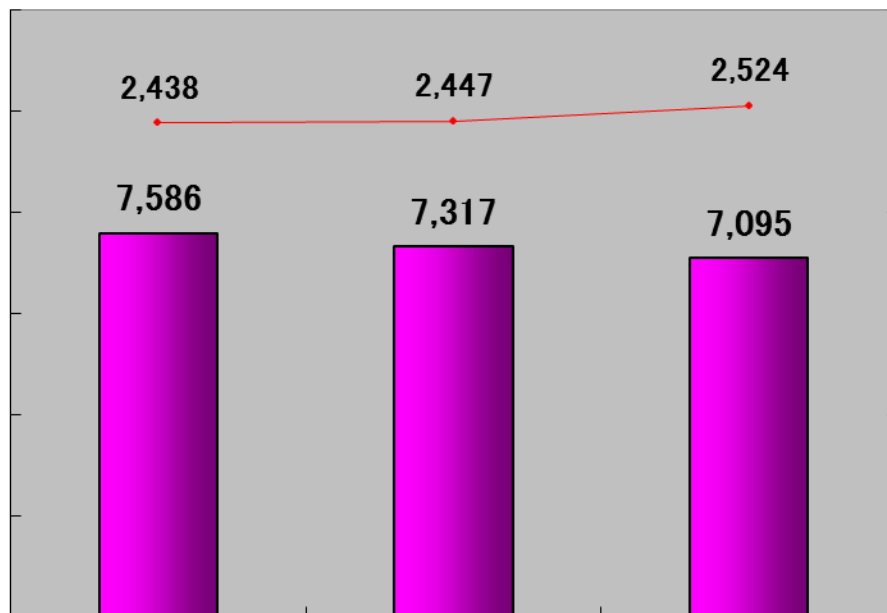
8,000

6,000

4,000

2,000

0



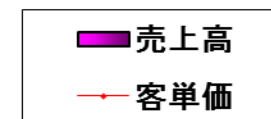
単位:円

3,000

2,000

1,000

0



13年1月期

14年1月期

15年1月期

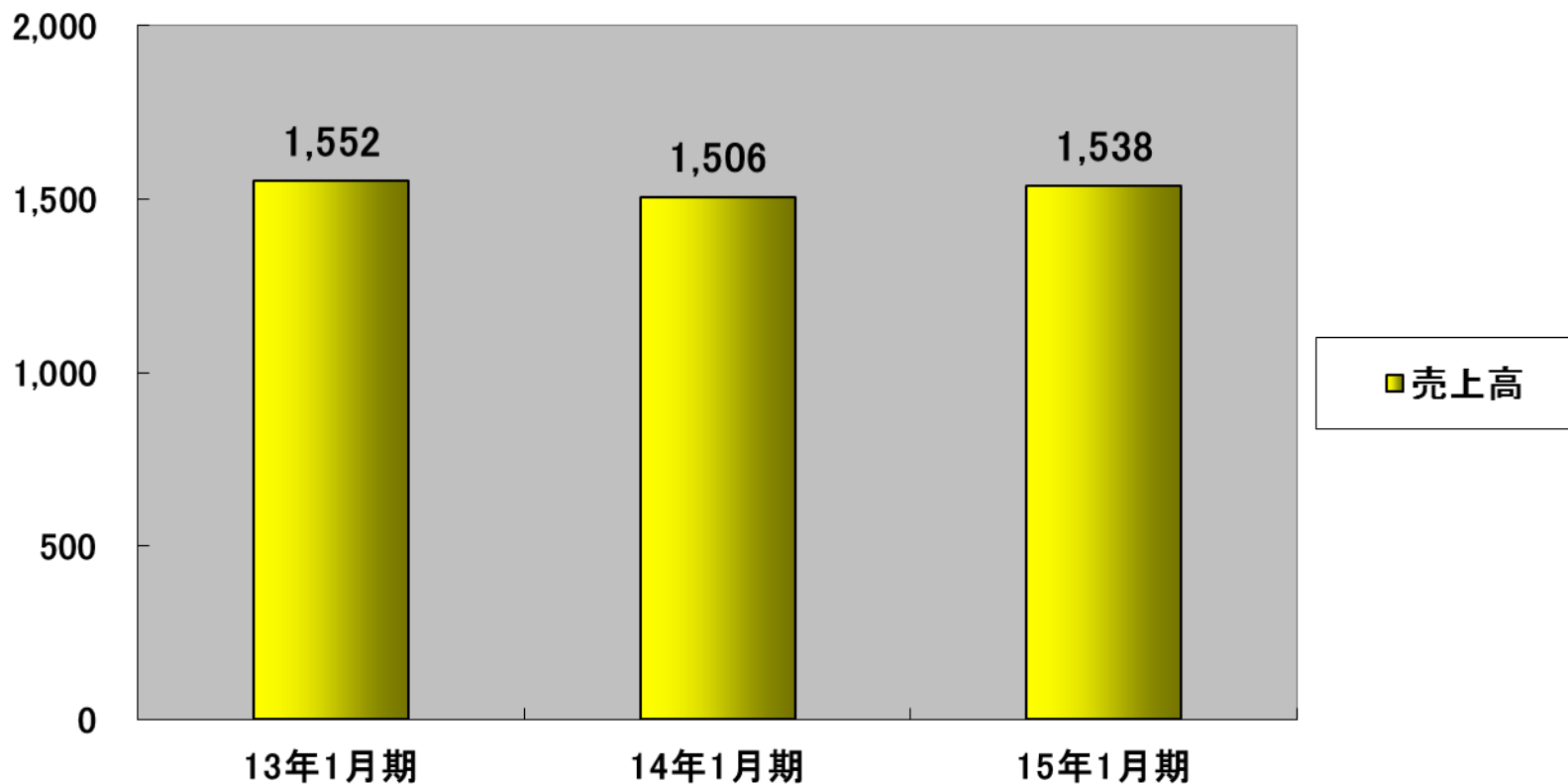
	13/1	14/1	15/1
月坪売上(千円)	347	341	346
店舗数	44	45	44

新規出店(0):なし

退 店(1):ウイング高輪店(2014/3/31最終営業)

# 不動産事業

単位:百万円



## 主な所有物件

- ・アドホック新宿(新宿区)
- ・プチモールニツ木(松戸市)
- ・代々木イースト(渋谷区)
- ・市ヶ谷ビル(新宿区)
- ・柿の木坂BMW(目黒区)
- ・相模原ビル(神奈川県相模原)



# 熱海事業 熱海後樂園ホテル

単位:百万円

単位:%

8,000

100

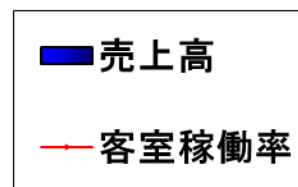
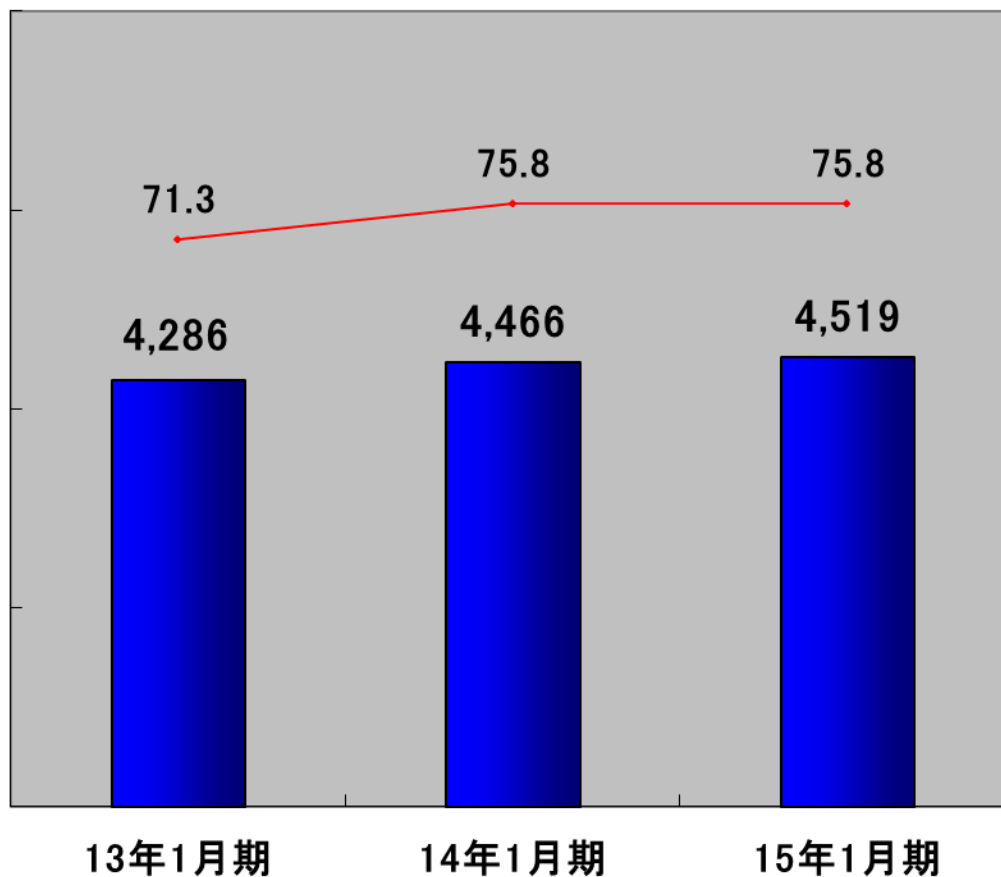
6,000

4,000

2,000

0

0

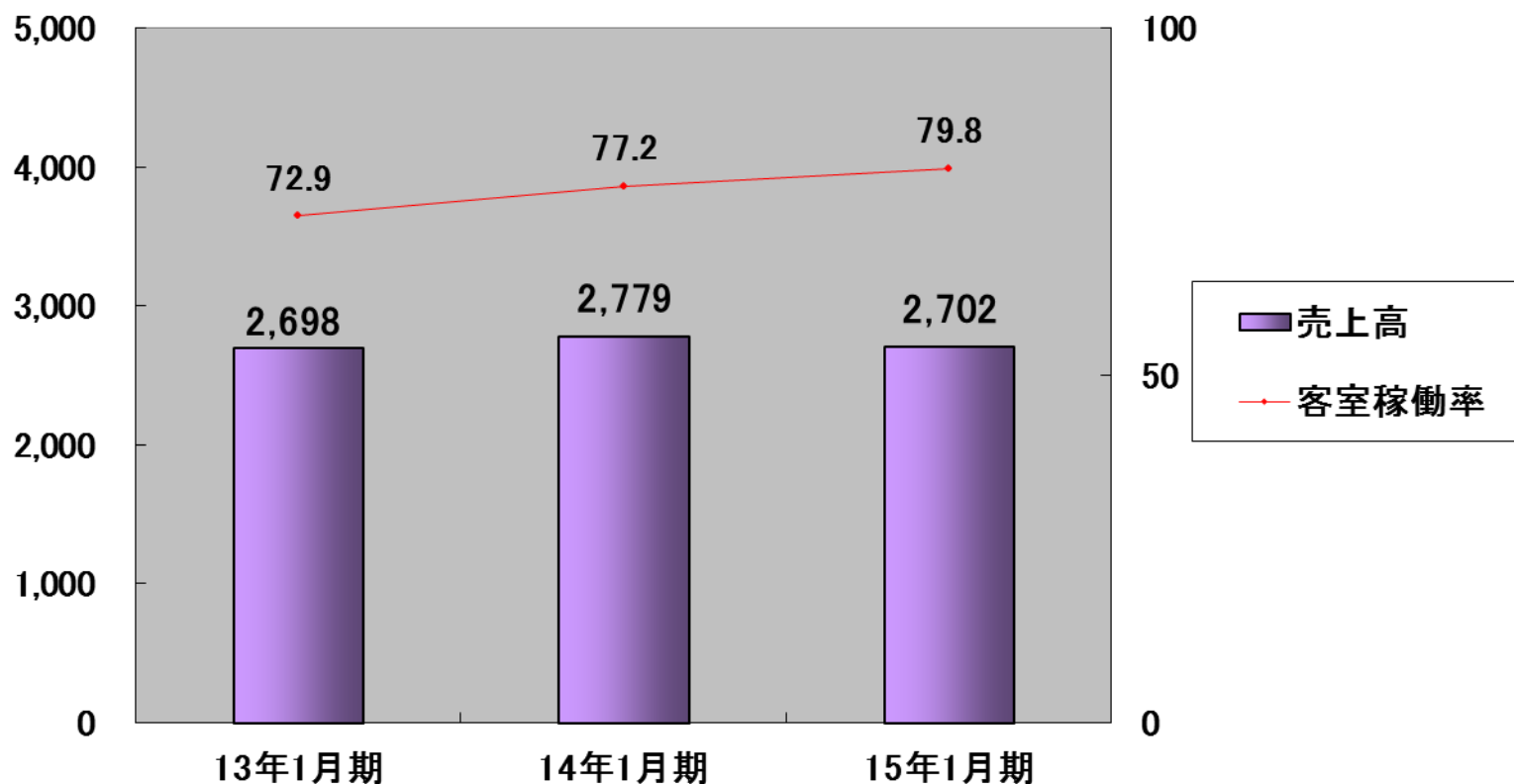


	13/1	14/1	15/1
宿泊者数(千人)	192	201	203

# 札幌事業 東京ドームホテル 札幌

単位:百万円

単位:%

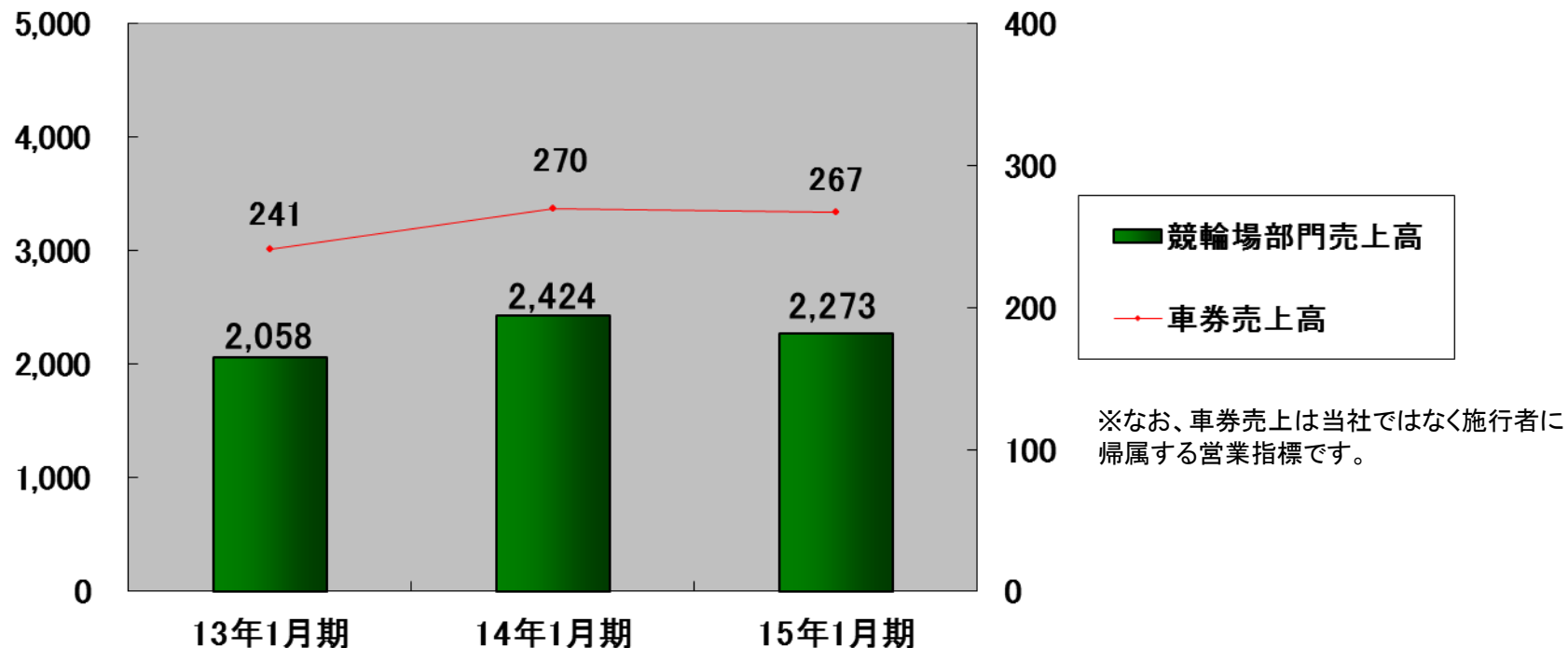


	13/1	14/1	15/1
宿泊者数(千人)	134	141	147
宴会件数(件)	2,639	2,649	2,611
婚礼件数(件)	192	211	139

# 競輪事業

単位:百万円

単位:億円



単位:百万円

		13/1	14/1	15/1
競輪場部門 売上内訳	賃貸収入	580	591	606
	運営受託収入	1,084	1,432	1,269
	その他収入	392	400	397

◎主な営業施設 : 松戸競輪場 ・ サテライト大和 ・ サテライト船橋

# 2016年1月期 連結通期業績予想

(業績予想)

(単位:百万円)

	16年1月期 予想	15年1月期 実績	増減	増減要因(前期比)
売上高	82,700	83,215	△515	【+要因】野球「プレミア12」開催、TeNQ通期営業、コンサートイベント増、指定管理事業の新規受託 【-要因】ポストシーズンゲーム未計上、イベント関連販売の減少
営業利益	10,000	11,270	△1,270	【-要因】売上の減少、新規受託事業初年度経費、営業費・減価償却費の増加など
経常利益	7,800	9,136	△1,336	
税金等調整前 当期純利益	6,600	8,462	△1,862	【-要因】特別利益見込まず、固定資産除却損及び解体撤去費の増加
当期純利益	4,200	7,441	△3,241	【-要因】繰延税金資産取り崩しによる法人税等調整額の増加
減価償却費	7,497	7,326	171	【+要因】設備投資の増加による(TeNQほか)
設備投資額	6,095	6,686	△590	【見込】東京ドーム受配電設備更新、オーロラビジョン(サブスコアボード)更新、スバラクーアリリニューアル
有利子負債	159,000	166,085	△7,085	

# 今期配当予想と業績予想の変動要因

## ■配当

2012年1月期	2013年1月期	2014年1月期	2015年1月期	2016年1月期
無配	5円	5円	6円	6円

## ■今期業績予想からの主な変動要因

- ・プロ野球ポストシーズンゲームの開催
- ・プロ野球やコンサートなどの東京ドームイベント関連収入の増加
- ・スパラクーアリニューアル効果
- ・税制改正による繰延税金資産の取り崩し

# リニューアル施設

・東京ドーム天然温泉・

# Spa LaQua

平成27年4月17日（金）  
リニューアルOPEN予定

※詳しくは、2015年3月19日発表のリリースをご覧ください。

リニューアル後のイメージ



## 予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は(株)東京ドームに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

